

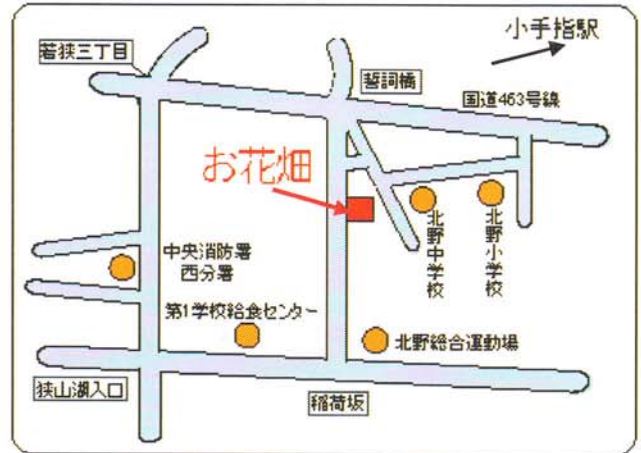
地産地消の取組み紹介

◆所沢市ではボランティアの方々と一緒に、北野の遊休農地にお花畑をつくっています。開花時期は春（5月）と秋（9月）の年2回で、主な花は、春はハナビシソウやシャーレーポピー、ヤグルマソウ、秋は数種類のコスモスです。

お花畑では開花時期に合わせて、年2回の農産物直売会を開催しています。今年の春の直売会では農畜産物や狭山茶、蜂蜜、焼き団子などが直売されました。秋の直売会は9月13日（土）となる予定です。

なお、お花畑には駐車場がありませんので、徒歩や公共交通機関でお越し下さい。

*一緒に素晴らしいお花畑をつくりませんか？ 種まきや草むしりなど、お花畑づくりにご協力いただけるボランティアの方を募集しています。お申し込みは農政課の窓口またはお電話（2998-9158）にて。



◆生産者の運営する直売所PRの一つとして、『所沢市農産物直売所ガイドマップ』を作成し、各種イベント会場や農政課窓口などで配布しています。

皆様もガイドマップ片手に、ぜひ直売所へ足を運んで、行き付けのお店を見つけてください。

◆所沢市では今年度から、市役所に婚姻届を提出したカップルに結婚祝として1,000円分の農産物引換券をプレゼントしています。市内の直売所や店舗にて、里芋や狭山茶などの農産物と引換えることができます。子孫繁栄の象徴である里芋、夫婦円満を保つ狭山茶を賞味していただき、所沢の特産品のおいしさを知っていただくのが狙いです。

◆所沢産農産物シールのデザインが決定しました！ 日大芸術学部デザイン学科コミュニケーションデザインコースの3年生の皆さんにお願いし、25点の候補を出していただきました。選考の結果、石井茜さんのデザインに決定しました。コンセプトは「特産の里芋をキャラクター化して子どもにも親しまれるように」とのこと。シールを貼られた農産物は全国に流通する見込みで、ブランド化・消費拡大を図ります。

◆学校給食でも所沢産農畜産物は活躍しています！ 市内の小中学校では平成14年から所沢産野菜が導入され、平成15年5月から狭山茶、平成17年4月から所沢産畜産物（鶏卵、豚肉）が導入されています。

狭山茶については、所沢市茶業協会と森乳業が共同開発した紙パック飲料「おいしいお茶」が使われています。



※※農薬の適正使用のお願い※※

農薬は、農地だけに限らず、学校や公園、家庭菜園など広く一般に使用されていますが、使用にあたってはラベルや袋に表示された**使用方法や注意事項を厳守する**ほか、他の作物に**飛散しないよう十分注意**し、散布する際には、**周辺住民への周知や隣家への飛散防止**などに努めてください。

食品衛生法の改正により、平成18年5月から施行されたポジティブリスト制度は、農薬について食品ごとに残留基準を設け、これを越えて農薬等が残留しているものの流通を禁止する制度です。農薬の適正使用により、食の安全・安心を図るように市としても普及・啓発を行っています。